

北朝鮮の核及びミサイルの脅威を含む情勢認識の共有、北朝鮮のミサイル警戒データのリアルタイム共有、3か国の共同訓練の進展等について議論

1. 北朝鮮の核及びミサイルの脅威並びに地域の安全保障問題

- 北朝鮮によるかつてない高い頻度での弾道ミサイル発射を強く非難した上で、北朝鮮が衛星打上げを目的として行う弾道ミサイル技術を使用した発射は、国連安保理決議の深刻な違反であることを強調。
- 法の支配の重要性を強調し、力又は威圧により現状を変更し、地域の緊張を高めようとするいかなる一方的な行動に対しても強く反対。
- ロシアによるいわれのない残虐な侵略戦争に対し、ウクライナを支持すること、また、ロシアの行動は国際秩序全体の構造を損なわせる、領土一体性及び主権の深刻な侵害であると認識することに対するコミットメントを再確認。
- 国際社会の安全と繁栄に不可欠な台湾海峡の平和と安定の重要性を強調。
- インド太平洋地域及び世界の平和と安定のために、引き続き、共に緊密に連携していくことにコミット。

2. ミサイル警戒情報のリアルタイム共有

- 2022年11月のプノンペン声明及び2023年8月のキャンプ・デービッド声明に沿って、北朝鮮により発射されたミサイルの脅威を探知し評価する各国の能力を向上させるため、**ミサイル警戒データのリアルタイム共有に関するメカニズムについて、年内の始動に向けた調整が順調に進捗し、最終段階を迎えている**ことを強調。
- 年内のメカニズム始動に向けて、検証を進めるとともに、3か国の調整をさらに加速していくことで一致。

3. 日米韓3か国の共同訓練

- 日米韓3か国の共同訓練を、より計画的に実施していくため、現在調整中の**複数年にわたる日米韓共同訓練計画を年末までに策定すべく調整を加速させる**ことで一致。
- 2023年10月に日米韓の空軍種による共同訓練が実現し、日米韓3か国の共同訓練が着実に進展していることに留意し、**インド太平洋地域における脅威に対応するため、こうした活動を継続し3か国の強固な意思と能力を示すことの重要性を強調**。

